

与謝野町公共施設白書

施設カテゴリー編



16

有線テレビ等放送施設

1 6 有線テレビ放送等施設

その1-1 施設の概要

有線テレビ放送等施設は、加悦地域にある加悦庁舎併設のCATVセンターと、岩滝・野田川地域に各1か所サブセンターを設置して構成しています。有線テレビ放送等施設を活用した有線テレビ事業では、「放送」「通信」「防災」を連携させた行政サービスを加入者世帯に提供しています。

放送では、NHK・民間放送などの地上デジタル放送難視聴地域の解消を図るため、地上デジタル放送の再送信を行うとともに、BS・CS衛星放送などの多チャンネル放送をお茶の間にお届けしています。また、自主番組放送、文字放送、データ放送など、行政情報等を毎日更新してお知らせしています。

通信では、FTTH方式による光インターネットサービスを通信速度の異なる「廉価プラン・基本プラン・まんぞくプラン」の3つのプランを用意して提供しています。

防災では、FM告知端末機を家屋に設置し、Jアラートと連携した防災行政無線（屋外）と連動したFM告知放送を行うとともに、平常時は行政情報などのお知らせを放送しています。

【有線テレビ放送等施設一覧】

施設名	所在地	面積（㎡）		建築年	運営形態
		敷地	延床		
CATVセンター	加悦433番地	491.2㎡	491.2㎡	H14	直営
CATV岩滝サブセンター	岩滝861番地2	140.0㎡	16.7㎡	H21	
CATV野田川サブセンター	四辻65番地	64.2㎡	18.6㎡	H21	
		695.4㎡	526.5㎡		

※CATV岩滝サブセンターは岩滝体育館敷地内、CATV野田川サブセンターは野田川庁舎内です。

【施設位置図】



その 1-2 サービスの内容

<サービスプラン体系>

サービスとプラン	Aプラン	Bプラン	Cプラン	Dプラン
有線テレビ	●	●	-	-
光インターネット	-	●	●	-
F M告知放送	●	●	●	●
月額費用	1,000 円	3,000 円～	2,500 円～	0 円

・光インターネット料金体系

光インターネット料金		通信速度	有線テレビ	インターネット	合計
B プラン	廉価プラン	10Mbps	1,000 円	2,000 円	3,000 円
	基本プラン	30Mbps	1,000 円	3,000 円	4,000 円
	まんぞくプラン	100Mbps	1,000 円	4,000 円	5,000 円
C プラン	廉価プラン	10Mbps	-	2,500 円	2,500 円
	基本プラン	30Mbps	-	3,500 円	3,500 円
	まんぞくプラン	100Mbps	-	4,500 円	4,500 円

<KYT11ch 自主放送番組等の状況>

■テレビ放送 ※放送担当（加悦地域振興課 CATV 係：職員 6 人（うち嘱託職員 1 人））

①番組の構成

月曜日 …… 小ニュース（知っとコーナー）、行事予定、瓦版総集編（先週の瓦版）

火曜日 …… ふるさと瓦版（地域の話）・制作番組

水曜日 …… ふるさと瓦版（地域の話）・制作番組

木曜日 …… ふるさと瓦版（地域の話）・制作番組

金曜日 …… ふるさと瓦版（地域の話）・制作番組

土曜日 …… 住民提供番組、広報ビデオ等

日曜日 …… 制作番組総集編（前週の制作番組）

※毎日 20 時放送、再放送 21 時・22 時・翌日 9 時・12 時 15 分・15 時（計 5 回）

②番組内容

ふるさと瓦版（地域のニュース）

制作番組（企画番組）

町議会関係 …… 議会運営委員会、議会初日、一般質問、予算決算審議

選挙関係 …… 告示日に立候補者の紹介、投票状況、開票

おくやみ等 …… 当日午後 3 時受付までの死亡者を当日放送、出生、婚姻を毎週月曜日に放送

生中継 …… 町議会本会議、臨時会、成人式、町長町議選挙開票、特別イベント等

■文字放送（行政情報等を文字のテレビ画面で 24 時間お知らせします。文字画面は合成音声で読み上げます）

行政情報、各区イベント情報等 約 595 件

■データ放送（映像とは別に、町の気象情報や行政情報、生活情報などがテレビから取り出せる。京都府の防災防犯情報システム等とも連携）

町の気象情報、行政情報、生活情報、各区イベント情報、出生、お悔やみ、区からのお知らせ、ごみカレンダー等
京都府の防災防犯情報システムと連携

- F M告知放送（加入世帯すべてに設置。停電した場合でも内蔵乾電池により告知放送受信が可能）
一般放送（163 件）、緊急放送（6 件）※ J アラート及び防災行政無線と自動連携
一斉放送、地域別放送、グループ放送が可能。また、携帯電話からのページング放送が可能（各区お知らせ等に活用）
F M告知端末機から F Mラジオ放送も選択できる（NHK 京都、FM 京都）
- NHK、民間テレビ放送の再送信（H27.3.3 デジアナ変換終了）※NHKBS 放送は除く
地上波 7 ch, 自主放送 1ch
衛星波（BS）NHK 2 ch、民間 2 9 ch+1ch、衛星波（CS）民間 1 波（約 70ch）

チャンネル		衛星放送（BS・CS）チャンネル ※同一周波数バスルー方式			
デジタル	番組名	デジタル	番組名	デジタル	番組名
011ch	NHK 総合	101ch	NHK 衛星第一（BS-1 有料）	211ch	BS11
111ch	自主放送（KYT3ch）	103ch	NHKBS プレミアム（有料）	222ch	Twelve
041ch	毎日放送	141ch	BS 日テレ	231ch	放送大学 1
061ch	朝日放送	151ch	BS 朝日	234ch	グリーンチャンネル（有料）
081ch	関西テレビ	161ch	BS-TBS	236ch	BS アニマックス（有料）
051ch	京都テレビ	171ch	BS ジャパン	238ch	FOXbs238（有料）
101ch	読売テレビ	181ch	BS フジ	241ch	BS スカパー！（有料）
021ch	N H K 教育	191ch	WOWOW プライム（有料）	242ch	JS SPORTS1（有料）
		192ch	WOWOW ライヴ（有料）	243ch	JS SPORTS2（有料）
		193ch	WOWOW シネマ（有料）	244ch	JS SPORTS3（有料）
		200ch	スターチャンネル 1（有料）	245ch	JS SPORTS4（有料）
		201ch	スターチャンネル 2（有料）	251ch	BS 釣りビジョン（有料）
		202ch	スターチャンネル 3（有料）	252ch	IMAGICA BS（有料）
				255ch	日本映画専門チャンネル（有料）
				256ch	ディズニースチャンネル（有料）
				258ch	D-Life（有料）
				531ch	放送大学（独立音声）
				910ch	ウイザース（独立データ）
				100ch	スカパー！E2（有料）約 70ch



- コマーシャル放送
CM 料金 5,000 円／30 秒／1 週間～ 料金 8,000 円／60 秒／1 週間～
- 放送番組ダビングサービス（S-VHS、DVD、BRD）
メディア持込（1 番組／1 本）300 円（町内） 1,000 円（町外）
- 与謝野町有線テレビ（KYT3ch）加入・利用料金

- ①加入料 10,000 円 ※当分の間は無料
- ②利用料 1,000 円／月
- ③引込工事負担金 実費 ※当分の間は無料
- ④宅内配線工事 実費 ※宅内工事業者にお問い合わせください。

<減免措置>

加入料及び利用料全額免除 …… 生活保護世帯

加入料及び利用料半額免除 …… 母子・父子家庭、75 歳以上のみの高齢者世帯、世帯主が身障 1、2 級、視覚、聴覚障害、知的障害者（A 判定）精神障害者（1 級）

<KYT-NET CATV インターネット接続サービス>

家族全員のメールアドレス、世帯ごとにホームページが無料で利用できます。

■ 初期経費について（参考）

区分	金額	申込・支払先	内容
宅内工事費	実費負担	町内電気店	ONU（屋外）からルーター（屋内）までの LAN 配線
B B ルーター	実費負担	各電気店	4,000 円程度～（有線・無線）
合計	約 20,000 円～		

このほかに、ブロードバンドルーター（必須）が必要です。また、必要に応じて、LAN ボード、ウィルス対策ソフト、設定料が必要です。各電気店にお問い合わせください。

■ 毎月の利用料

- ・廉価プラン（10M）2,000 円／月、基本プラン（30M）3,000 円／月、満足プラン（100M）4,000 円／月
- ・テレビとセットで加入（B プラン）の場合
廉価プラン（10M）2,500 円／月、基本プラン（30M）3,500 円／月、満足プラン（100M）4,500 円／月
- ・インターネットのみの加入（C プラン）の場合
500 円／月の割増し。

【オプションサービス】

グローバル IP アドレス割当サービス（平成 25 年 2 月～、満足プラン限定のオプションプラン）

※設定変更手数料 3,000 円

※利用料＝5,000 円（月額）

■ K Y T - N E T の特徴

第 1 次プロバイダー～センター間：帯域保障 600Mbps（2 回線）

加入料なし／利用料月額 2,000 円～

メールアドレス 家族全員無料

メール BOX 容量（15M／1 アカウント）

ホームページ 1 契約無料（50M）

プライベート IP アドレス（DHCP）での運用システム

グローバル IP アドレス割当サービス（※オプションサービス、設定変更手数料 3,000 円、利用料 5,000 円/月額）

メールアドレス追加等変更手数料 500 円

その2 施設の物理的状況

CATV センター自体は、加悦庁舎建設時の平成 14 年に整備されました。主に、デジタル自主放送設備、再送信設備、FM 告知放送設備、光インターネット接続サービス設備があり、番組制作など取材・編集拠点はここで行っています。

また、CATV センターから各サブセンターへ光ファイバーケーブル（伝送路（FTTH））がループ状に構成され、繋がっています。このサブセンターは平成 21 年度に実施した CATV 拡張事業の際に整備され、岩滝・野田川地域エリアの中継点として設置されています。

① 老朽化の状況

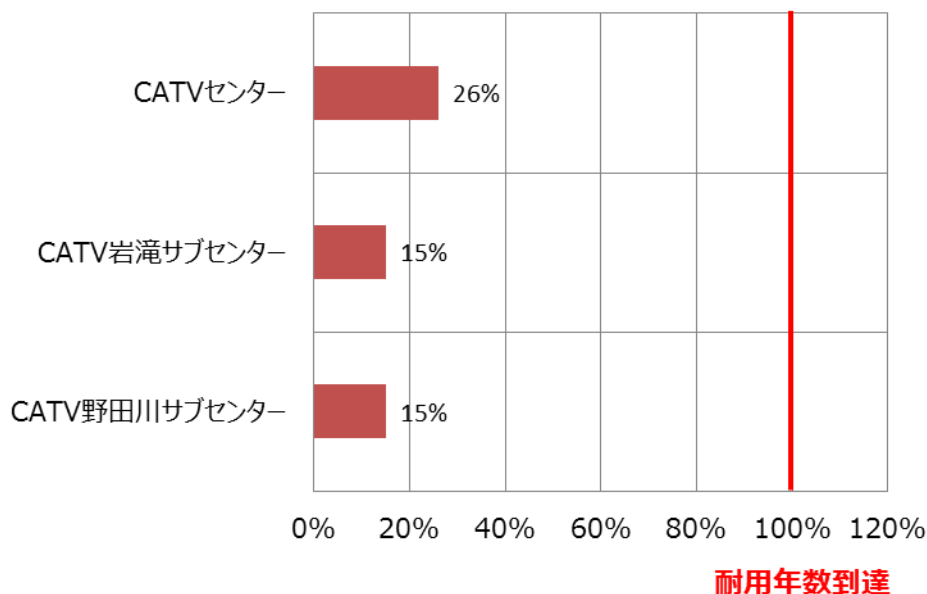
有線テレビ放送等施設の老朽化の状況ですが、CATV センターは加悦庁舎と同時に整備され、サブセンターは平成 21 年度の拡張事業の際に整備されましたので、いずれも新しい建物です。

【有線テレビ放送等施設老朽化一覧】

施設名	構造	老朽化状況			耐震性
		建築年	耐用年数到達	老朽化率	
CATVセンター	鉄筋コンクリート造2階建	H14	H64	26%	有
CATV岩滝サブセンター	鉄骨造	H21	H61	15%	有
CATV野田川サブセンター	鉄骨造	H21	H61	15%	有

※老朽化率は（経過年数/耐用年数）で算出しています。100%を超えると耐用年数超過です。

※耐用年数は鉄筋コンクリート造50年、鉄骨造40年を想定しています。



② 設備の状況

<平成 21 年度整備（岩滝・野田川地域）>

・伝送路（F T T H = 全線光ファイバー・完全双方向・2600MHz）

幹線光ファイバー（こう長） 95,693m

カブラ（1,240 個）、クロージャー（853 個）、引込端子数（10,600 端子）、ONU（4,720 個）

・デジタル自主放送設備（ハイビジョン）

ノンリニア編集システム（4 台）、ラップトップ型ノンリニア編集システム（2 台）、HD インテグレートドカメラ（2 台）、P2 カメラ（2 台）、インカムシステム（1 式）、スタジオモニター機器（1 式）、操作卓（1 式）、送出装置システム（1 式）、アーカイブ装置システム（1 式）、議会中継装置システム（1 式）、可搬型中継機器（生中継用機器 1 式）、番組管理装置システム（1 式）

- ・文字放送・データ放送・ホームページ作成設備（ＣＭＳ）
データ放送送出装置システム（１式）、ＨＤ文字放送装置システム（１式）
- ・インターネット接続サービス設備（KYT-NET）
専用線（株式会社ケイ・オプティコム 600Mbps×2 回線）、WWW/MAIL/DNS/PROXY サーバー
- ・FM 告知放送設備
FM 告知放送センター装置システム（１式）、FM 告知端末器（加入者宅へ貸与）
※遠隔放送 PC 設置（３ヶ所）、携帯電話回線等からの遠隔放送（１回線）
- ・加入者管理
加入者管理装置システム（１式）
- ・施設監視
光機器監視装置システム（放送系・通信系統合監視 １式）
- ・CATV センター改修
既設電源設備改修（１式）
- ・サブセンター施設整備（２ヶ所） ※空調設備・局舎用無停電装置・自家発電設備含む
野田川サブセンター（四辻 65 番地）、岩滝サブセンター（岩滝 861 番地）

<平成 22 年度整備（加悦地域）>

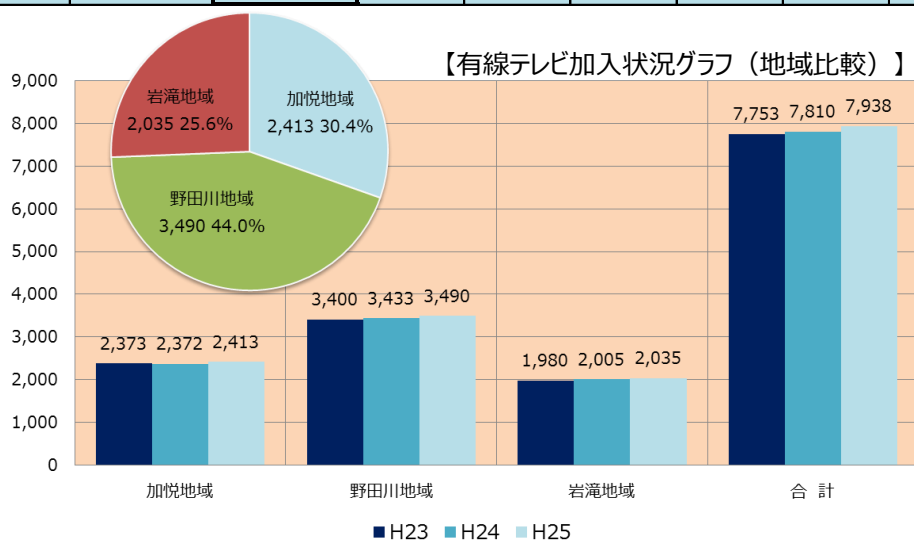
- ・伝送路（ＦＴＴＨ＝全線光ファイバー・完全双方向・2600MHz）
幹線光ファイバー（こう長） 66,789m
カブラ（532 個）、クロージャー（506 個）、引込端子数（42,56 端子）、ONU（2,377 個）
- ・バーチャルスタジオ整備
バーチャルシステム（１式）、照明設備
- ・CATV センター改修
局舎用無停電電源装置整備（１式）

その3 施設の利用状況

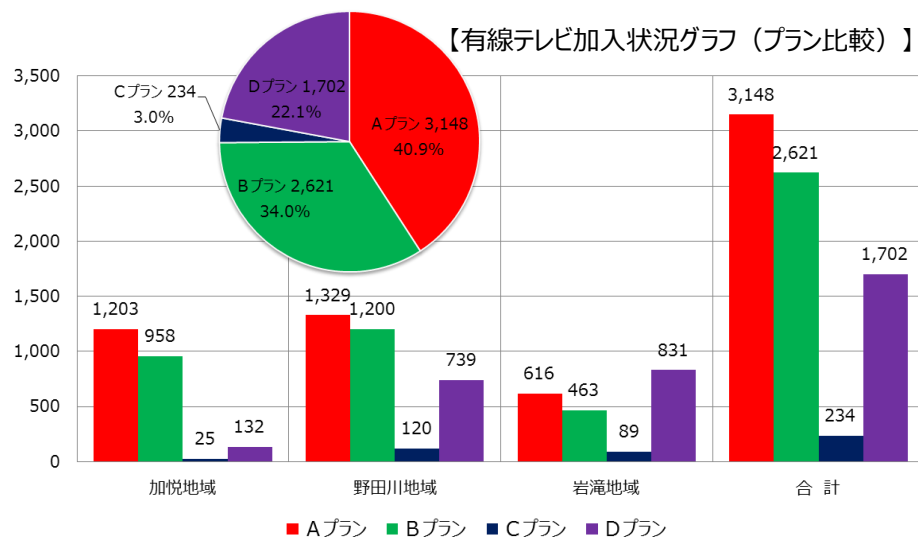
有線テレビの加入状況は以下のとおりです。

【有線テレビ放送等施設加入状況一覧】

住所地	年度	全世帯数	加入数						加入率
			小計	Aプラン	Bプラン	Cプラン	Dプラン	休止	
加悦地域	H23	2,783	2,373	1,222	930	20	127	74	85.3%
	H24	2,769	2,372	1,214	937	21	124	76	85.7%
	H25	2,789	2,413	1,203	958	25	132	95	86.5%
H25-H23比較		6	40	-19	28	5	5	21	1.3%
野田川地域	H23	4,010	3,400	1,371	1,124	85	772	48	84.8%
	H24	4,016	3,433	1,350	1,162	102	737	82	85.5%
	H25	4,017	3,490	1,329	1,200	120	739	102	86.9%
H25-H23比較		7	90	-42	76	35	-33	54	2.1%
岩滝地域	H23	2,330	1,980	625	413	64	855	23	85.0%
	H24	2,339	2,005	622	436	75	845	27	85.7%
	H25	2,324	2,035	616	463	89	831	36	87.6%
H25-H23比較		-6	55	-9	50	25	-24	13	2.6%
合 計	H24.3.31	9,123	7,753	3,218	2,467	169	1,754	145	85.0%
	H25.3.31	9,124	7,810	3,186	2,535	198	1,706	185	85.6%
	H26.3.31	9,130	7,938	3,148	2,621	234	1,702	233	86.9%
H25-H23比較		7	185	-70	154	65	-52	88	2.0%



テレビとFM告知のAプラン、Aプランにインターネットを加えたBプランの加入が多くなっています。



その4 コスト状況

① 管理・運営コスト

現在のCATV管理・運営に係る管理面での年間コストは以下のとおりです。

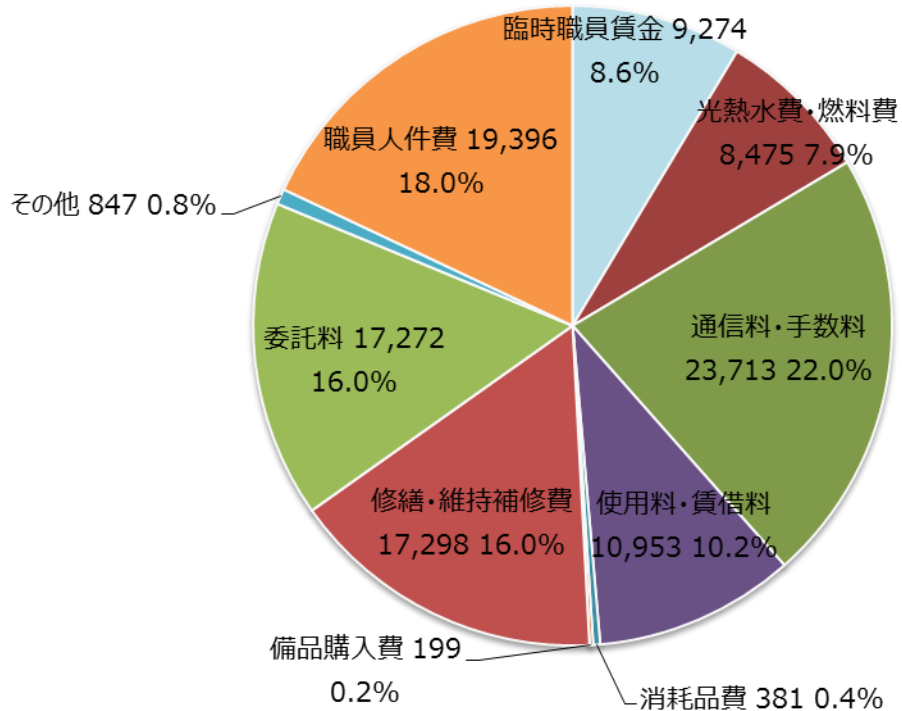
【有線テレビ放送等施設管理・運営コスト一覧】

(単位：千円)

項目	CATVセンター	岩滝サブセンター	野田川サブセンター	合計
臨時職員賃金	9,274	-	-	9,274
光熱水費・燃料費	6,655	814	1,006	8,475
通信料・手数料	23,713	-	-	23,713
使用料・賃借料	10,953	-	-	10,953
消耗品費	381	-	-	381
備品購入費	199	-	-	199
賄・医薬材料費	0	-	-	0
修繕・維持補修費	17,298	-	-	17,298
委託料	17,251	-	21	17,272
指定管理料	0	-	-	0
その他	847	-	-	847
合計	86,571	814	1,027	88,412
職員人件費	19,396	-	-	19,396
合計				107,808
料金等収入	149,075	-	-	149,075

※平成25年度の実績額です。

【有線テレビ放送等施設管理・運営コスト内訳グラフ（単位：千円）】



整備コスト（建替え・解体コスト）

【整備時期の考え方】

☆耐用年数到達年に同等施設（同じ延床面積）に建替え。

☆耐用年数経過している建物は５年以内に同等施設（同じ延床面積）に建替え。

☆建替える必要性がないと考えられる建物は耐用年数到達時に解体（耐用年数を既に経過している場合は５年以内に解体）

【コストの考え方】

■ＣＡＴＶセンター

建替えコストは総務省明示のコストを参考に単価を設定しました。

○建替えコスト・・・４０万円/㎡（解体費込み：庁舎と一体のため行政系施設）

○解体コスト・・・３万円/㎡

■サブセンター

建替えコストは総務省明示のコストを参考に単価を設定しました。

○建替えコスト・・・３６万円/㎡（解体費込み：その他施設）

○解体コスト・・・３万円/㎡

これらの単価に現在の延床面積を乗じて算出しコストは以下のとおりです。

【有線テレビ放送施設等整備等コスト一覧】

（単位：千円）

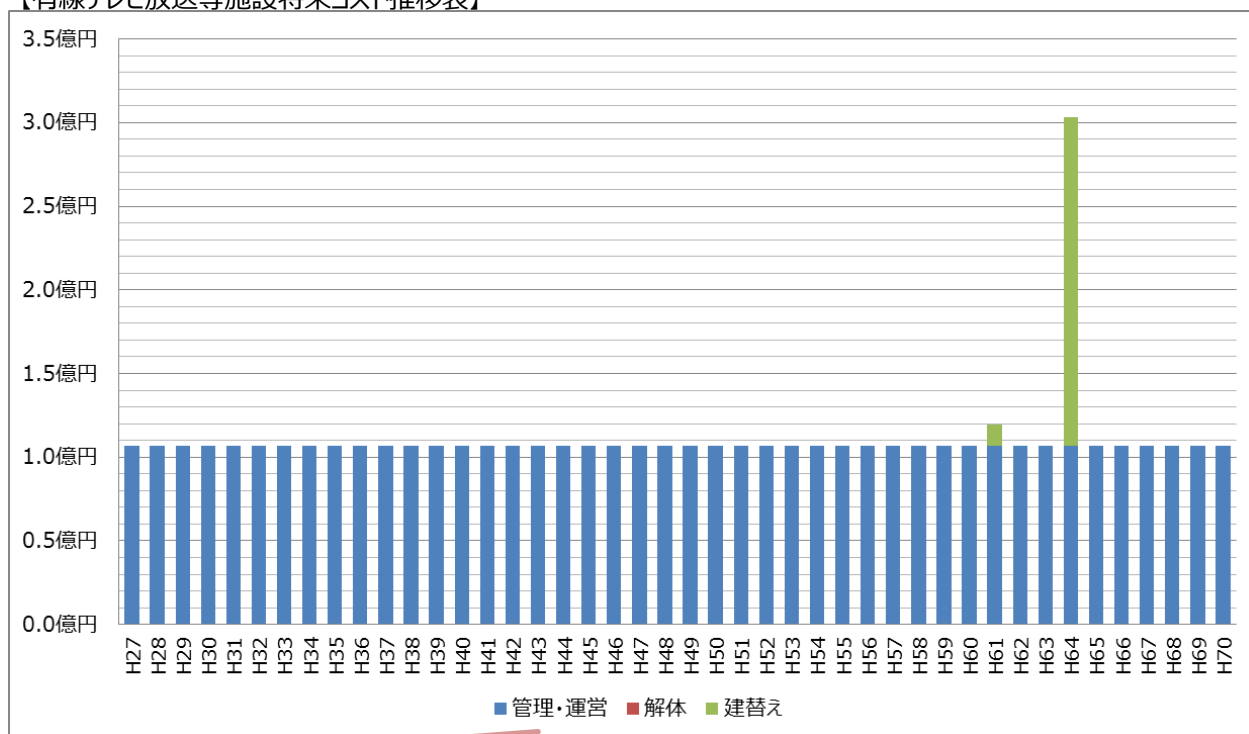
施設名	建築年	耐用年数	当初建設費	建替え		解体	
				実施年度	コスト (解体コスト含む)	実施年度	コスト
ＣＡＴＶセンター	H14	50年	-	H64	196,492	参考	14,737
CATV岩滝サブセンター	H21	40年	-	H61	6,026	参考	502
CATV野田川サブセンター	H21	40年	-	H61	6,707	参考	559
合計					209,225	合計	15,798

※ＣＡＴＶセンターの当初建設費は加悦庁舎建設費の中で分別できないため空白です。

※サブセンターの当初建設費はＣＡＴＶ拡張事業の中で分別できないため空白です。

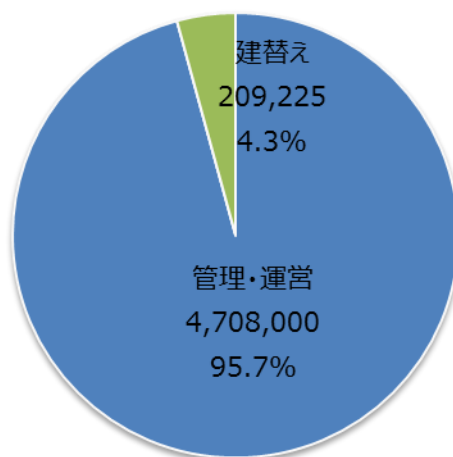
管理・運営コストも含めた将来コストの推移は以下のとおりです。

【有線テレビ放送等施設将来コスト推移表】



コスト総額約 49.2 億円（整備費 2.1 億円、解体費 0 億円、管理費 47.1 億円）

【有線テレビ放送等施設将来コスト内訳グラフ（千円）】



その5 まとめ

有線テレビ放送等施設は、FTTH 方式による有線テレビネットワーク網を町により整備し、地上デジタル放送やデータ放送などの視聴、超高速インターネットへの接続、防災行政無線と連携した FM 告知放送が全地域で利用可能となっています。さらに、公共施設間を結ぶ地域イントラネットも構築されており情報通信基盤は一定整備されています。

- ・「放送」分野については、地上デジタル放送、多チャンネル放送（BS・CS衛星放送）、自主番組放送、自主文字放送、自主データ放送を運用しています。子どもから高齢者までが気軽に有線テレビを利用できるよう、内容の一層の充実が求められています。

- ・「通信」分野については、都市部とのデジタルデバイドを解消する超高速ブロードバンド環境を実現していますが、通信分野の技術革新や民間事業者の新商品の開発スピードは非常に速く、これらの研究や導入を検討する必要があります。また、平成 27 年 1 月から民間参入にインターネットサービス等がスタートしたことにより、利用者の選択肢が増え喜ばしい反面、競争が激化してきた。
- ・「防災」分野については、デジタル防災行政無線及び全国瞬時警報システム（Ｊアラート）と連携したＦＭ告知放送を運用しています。機能を最大限発揮するため全ての世帯が加入される取り組みを継続する必要があります。

以上のことを踏まえ、有線テレビ放送等施設は、町が主体となって運営していますが、住民参加・協働による事業運営を推進しており、その強化のための体制づくりが求められています。さらに、一層の住民ニーズに合った良質なサービスを提供できる「運営方式」を研究する必要があります。

その６ 参考事項

有線テレビ放送等施設（以下、「CATV 施設」という。）の概要については、先ず合併前後における情報通信基盤を取り巻く状況について整理しておく必要があります。

加悦地域では、平成 3 年からテレビ難視聴地域の解消と自主番組放送等を中心とした有線テレビ放送や、防災行政無線の代替手法として防災・行政情報などの音声告知放送を CATV 施設網により加入世帯に行っていました。そして、平成 14 年から幹線を光ファイバーにリニューアルするとともに CATV 施設網（HFC 方式）を活用したインターネット接続や、平成 19 年から地上デジタル放送の再送信を行っていました。

野田川地域では、昭和 53 年に防災行政無線を整備し、緊急放送や定時放送、サイレン吹鳴等を行い、防災・行政情報をお知らせしてきました。

岩滝地域では、平成 15 年に地域イントラネットによる公共施設間ネットワーク網を光ファイバーで整備し、各公共施設設置のパソコンからや、自宅のパソコンからインターネット接続を介して、議会中継や図書検索など、11 のアプリケーションシステムを運用してきました。また、これまでから運用をしてきた防災行政無線を平成 13 年に更新し、野田川地域と同様の防災・行政情報の放送等を行っていました。

このように、旧 3 町域においては、それぞれ情報化施策を個々に進め、その時代に適応した情報通信基盤整備を行ってきました。

また、当時、民間事業者による ADSL サービスについては、ADSL の特性上、加悦・野田川地域の周辺部で十分な通信速度を得られない地域がありました。加悦地域は CATV 施設網によるインターネット接続により代替サービスを行うことができましたが、野田川地域の周辺部はインターネット接続の過疎地域となっていました。

テレビ難視聴対策については、CATV 施設により加悦地域は一本化されており、地上デジタル放送対策もすでに整備済みでした。しかし、野田川・岩滝地域にもテレビ難視聴地域があり、それぞれ共聴アンテナ組合等を組織して維持管理が行われていましたが、地上デジタル対策を早急に進めなければならない状況となっていました。

住民の皆さんへの情報伝達手段は、旧町域ごとに、CATV 施設の自主番組放送等や音声告知放送、防災行政無線による放送など、お知らせする内容や手段がばらばらで統一できていませんでした。同じ町内にもかかわらず、住んでいる地域や場所によって、自主番組放送等が見たくとも見るができなかったり、インターネット接続による通信速度等の問題により行政情報を見ることができなかったり、地上デジタル対策のための共聴アンテナ施設改修に個人負担の大小があったりと、地域間格差、情報格差、不公平感の解消について住民の皆さんからそれらへの対応について求められていました。

また、合併後の住民の皆さんの一体感の醸成を図る上でも、行政情報や生活情報、緊急情報を統一した内容で提供することが重要であると考えていました。

旧町域による地域間格差、情報格差、不公平感を解消していくためには、全町域に統一した高度な情報通信基盤を活

用した情報サービスの提供を行なう必要がありました。また、課題克服とあわせて今後の情報化社会への対応や都市部との情報格差の解消なども考えていかなければなりませんでした。

そのためには光ファイバー（FTTH 方式）を敷設して地域情報インフラ整備を構築することが総合的に最も有効と判断し、加悦地域の CATV 施設を岩滝・野田川地域へ拡張整備し、現在に至っています。

なお、防災行政無線については、消防防災の観点から別の枠組みとして全町域に統一した施設整備を図ることとされ、CATV 施設と連携した防災行政無線の整備が行われました。

＜当時、課題としていた事項＞

1. 有線テレビ自主放送番組等が視聴できない地域の解消。
2. インターネットブロードバンド環境（通信速度を確保）未整備地域の解消。
3. 公平なテレビ難視聴対策と地上デジタル対策。
4. 防災行政無線のシステム統合（デジタル化）と未整備地域の解消。